

飯高タイムズ 141

≫ ≫ ≫ ホームページはこちら ⇒ <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~iidaxh/>

第68回卒業証書授与式 式辞

(ダイジェスト版)

校長 三嶋 達也

校庭の木々の芽もほころび始め、春の息吹を感じさせる今日のよき日に、普通科101名、総合学科36名、合計137名の卒業生に卒業証書を授与いたしました。卒業生の皆さん、おめでとうございます。

皆さんは、平成25年の春に入学して以来、勉学や部活動に青春のエネルギーを燃焼させ、各種行事やボランティア活動にも熱心に取り組んできました。そして、校訓「清・慎・勤」に培われた本校のよき伝統をしっかり受け継ぎ、精一杯努力してきたことに対して心から敬意を払いたいと思います。

また、皆さんが無事本校での学業を終えられたのは、皆さん一人ひとりの努力はもちろんのことではありますが、その陰には保護者を始め、多くの方々の温かい支えと励ましがあったからです。そのことを決して忘れてはなりません。本日は、これまでお世話になった人々に感謝し、今までの自分を振り返る日でもあると思います。

さて、本日の門出に当たり、私は皆さんに二つ、お願いしたいことがあります。一つ目は、卒業後も常に先をしっかりと見つめ、自分の限界からさらに「一步前進」を果たしてほしいということです。この「一步前進」という言葉は、昨年4月に私が飯田高校に着任して以来、繰り返し語ってきた言葉です。この壇上から皆さんに話をするのは今日が最後となりますが、どうぞこの精神をこれからも忘れないでください。

松下幸之助が『道をひらく』という本の中で書いているとおり、皆さん一人ひとりには、与えられた道があります。それがどんな道であれ、時には人の力を借りながら、時には苦しみながら、時には不安を抱えながらも、自分の道を自力で、こつこつと誠実に、心を定め、希望を持って歩んでいかなければなりません。皆さんがどんな困難に直面しても、そこから逃げずに正面から取り組む姿勢をこれからも持ってほしいと私は願っています。

二つ目のお願いは、これから先も、故郷に誇りと愛着を持ち、飯田高校卒業生として、自分のできる方法で故郷の活性化に貢献してほしいということです。新聞報道等でも知るとおり、今日、奥能登地域は少子高齢社会となり、人口減少が止まりません。奥能登の人口減少は大きなピンチです。しかし、昔から「ピンチはチャンス」という言葉があります。私は、103年の歴史を誇る、能登の名門、伝統校である飯田高校で学んだ皆さんこそ、石川県で一番この問題に対する解決能力を持つと信じています。生



まれてから高校卒業までこのすばらしい故郷で育ってきた皆さんだからこそ、このピンチをチャンスに変える力を持っていると思うのです。その力をどうかこの地域の活性化のために貸してください。そのことをあらためて強くお願いします。

4月からは、皆さんの生活は大きく変化します。石川県教育委員会告辞にもあるとおり、選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられたことにより、皆さんは間もなく有権者として責任のある立場にもおられます。これから先も一人ひとりが社会と主体的に関わり、自分たちがこの社会を切りひらいていくのだという気持ちを持ってください。

終わりにになりましたが、保護者の皆様にはお子様のご卒業、誠に感慨ひとしおのこととお察し申し上げます。深い愛情を持って、時には厳しく、時には温かく見守りながら、ここまで育てられてきたことに対し、心からの敬意と感謝を申し上げます。

お子様が入学して以来、「真理を探究し、高い知性と豊かな心を養い、積極・進取の精神をもった明朗快活で実践力のある誠実な人間を育成する」という本校の教育目標のもと、私たち教職員は最善の努力を重ねてまいりましたが、まだまだ力がおよばなかった面もあったかと存じます。これからは、お子様自らが道をひらき、それぞれの未来に向かって前進してくれるものと確信しております。

結びにあたり、卒業生の皆さんの末長い健康と限りない発展を心から願い最後にもう一度「輝かしい未来に向かって一步前進」という言葉を伝え、私の式辞といたします。

各賞受賞者紹介

3 学年主任 丹保 亜矢子

「新谷敏夫奨励賞」は、心清く、日々の行い慎ましく世の人のために勤しみ励むことを日々心がける「清慎勤」の精神を体得し、範と認められる生徒に対する表彰です。勲四等瑞宝章を受章された新谷敏夫先生の遺志を受け平成 3 年度に設立されたこの賞は、飯田高校生にとって極めて大きな名誉となる賞です。今年度普通科 2 名、総合学科 1 名の生徒に授与されました。

新出菜帆さんは、学業で優秀な成績を収めるとともに部活動や生徒会活動でも精力的に活動し、3 年間にわたって文武両道に努めました。

川辺彩さんは、学業に励むとともに、ウエイトリフティング部部长として後輩を導き、県代表として 3 年間自らの限界に挑戦しました。

西村愛吏さんは、学業で優秀な成績を収めるとともに全国簿記コンクールに県代表として出場を果たし、各種検定取得にも励みました。

「同窓会長賞」は、学校内外の教育活動に積極的に参加し優秀な成績を収めた個人及び団体を表彰するものです。今年度は、北信越出場を果たした女子ソフトテニス部と男子ソフトテニス部の 2 団体と、学業や生徒会活動、部活動で活躍した 6 名が受賞しました。

「皆勤賞」は、在学した 3 年間、無遅刻・無欠席・無欠課・無早退を継続した生徒に贈られ、今年度は 23 名が表彰されました。また、総合学科で優秀な実績を残した生徒に対して、専門教育に関連する協会から賞が授与されました。



◆新谷敏夫奨励賞

新出 菜帆 (3B) 川辺 彩 (3C)
西村 愛吏 (3D) (以上 3 名)

◆同窓会長賞

【個人】

矢鋪 愛海 (3A) 倉見 滉 (3B)
次社耕太朗 (3B) 持平 拓朗 (3B)
平 紗雪 (3B) 砂後谷幸治 (3C)
(以上 6 名)

【団体】

○女子ソフトテニス部

中社 惇美 (3B) 穴田 吏乃 (3C)
柝平 梨湖 (3C) 登谷 祐希 (3C)

○男子ソフトテニス部

加護 峻平 (3A) 芝下 勇輝 (3B)
瀧下 海斗 (3B) 名古屋雅弘 (3B)
入田 義生 (3C) 塩井 智詞 (3D)
惣田 将弘 (3D) 古川翔太郎 (3D)
(以上 2 団体)

◆皆勤賞

鹿野 泰光 (3A) 濱野 友寛 (3A)
二又 宥斗 (3A) 金瀬戸ふゆ美 (3A)
川上 真穂 (3A) 小畠 優希 (3A)
柳瀬 彩子 (3A) 次社耕太朗 (3B)
瀧下 海斗 (3B) 時長 克也 (3B)
名古屋雅弘 (3B) 蒲田 瑞季 (3B)
菅谷内 陽 (3B) 中社 惇美 (3B)
町分 千夏 (3B) 山去 麻佑 (3B)
角花 寿雄 (3C) 新出 裕介 (3C)
垣内叶和子 (3C) 柝平 梨湖 (3C)
登谷 祐希 (3C) 橋本 唯我 (3D)
濱野 結七 (3D) (以上 23 名)

◇専門学校等御下賜金記念優良卒業生

井田 泰雅 (3D)

◇全国総合学科高等学校長協会会長賞

矢野 晶子 (3D)

◇全国商業高等学校協会賞

濱野 結七 (3D)

◇全商検定 1 級 3 種目以上

4 種目

濱野 結七 (3D) 西村 愛吏 (3D)

3 種目

森山 雅也 (3D)

「石川県課題研究発表会」に参加して

総合学科 平田 正得

本校総合学科では3年次に「総合的な学習の時間」で、専門的な知識と技術の深化、総合化を図ることを目的として、班単位で課題解決型学習を実施しています。1月21日の校内発表会に6班が出場、総合学科1・2年生や来賓の前で研究成果を発表しました。その中から、総合ビジネス系列1班、システム情報系列1班が選ばれ、県の発表会に参加してきました。

第18回商業生徒発表会

2月15日(月) こまつ芸術劇場うらら

「椿油を使用した商品開発」

現在既存商品として椿油を使用した石鹸があるが、珠洲市の花である「つばき」を使用して新たな商品を開発することができないか、また、珠洲の活性化に結び付けることができないかをテーマにかかげました。商品開発に向けた調査、椿の種の採取、油搾り、ハンドクリームを試作作り、これからの課題をまとめたものを発表しました。現在商品化を目指して業者との交渉中ですが、今後の珠洲の活性化にも繋がることを期待したいと考えています。



第22回石川県高等学校課題研究発表会

2月19日(金) 金沢市立工業高等学校

「テクニカルボランティア ちょっと相談のつらろ会」

アンケートで周りの人達の要望をとり、これまで授業の中に身につけた知識や技術をどのように役立てて行けるかを研究しました。カーテンレールの取り付け、網戸やふすまの張り替え、テーブルの修理などを行った取組について発表しました。会場からの質問も多く、関心の高さが伺われました。講評では学校にある道具や材料を有効に活用し、みんなが喜んでもらえるようなものづくりを体現した研究で、将来に役立ててほしい、とのコメントを頂きました。



飯高生とあそばんけ?～リニューアル総合学科の取り組み～

総合学科1D担任 長谷川仁嗣

2月20日(土)、総合学科1年生11名による「飯高生とあそばんけ?」のイベントが珠洲市立中央図書館でおこなわれました。前述の“～による”というところがポイントです。このイベントの企画内容の決定から当日の運営まで、ほとんどを生徒たちに託しておこなってもらいました。彼らは次年度からも地域ビジネス系列(“TBK”と自称)の生徒として、ほかの誰でもない自分たち自身が担い手となったイベントや取り組みを実行していく予定です。今後のTBKの活動に乞うご期待です。



紙飛行機作り



輪投げ

珠洲市スポーツ賞・珠洲市少年文化賞、能登町スポーツ賞 表彰式

生徒会 端谷 哲也

平成 27 年度の珠洲市スポーツ賞・珠洲市少年文化賞の表彰式が 2 月 18 日に珠洲市産業センターで、また能登町スポーツ賞の表彰式が 2 月 19 日に能登町役場で行われました。本校の代表として、郷土のためにスポーツと文化活動で活躍した下記の皆さんが受賞しました。また、2 年 D 組の北川虎史君が 3 月 25 日から 28 日にかけて金沢市総合体育館で行われる第 31 回全国ウエイトリフティング大会 105kg 級競技への出場を決めました。

◆珠洲市スポーツ賞：個人

川辺 彩(3C) ウエイトリフティング部

◆珠洲市スポーツ奨励賞：個人

砂後谷幸治(3C) 陸上競技部 頼廣 勁汰(2D) 陸上競技部

岩瀬 彩楓(1A) 陸上競技部 西川奈々子(1C) 陸上競技部

畠山 義慶(1C) ウエイトリフティング部

川高 竜輝(1D) ウエイトリフティング部

◆珠洲市スポーツ奨励賞：団体

男子ソフトテニス部 女子ソフトテニス部

男子ウエイトリフティング部

◆珠洲市少年文化賞：個人

西村 愛史(3D) 簿記

◆珠洲市少年文化賞：団体

芸術部

◆能登町スポーツ奨励賞：個人

坂口 達哉(1C) ウエイトリフティング部

◇第 31 回全国ウエイトリフティング大会

場所 金沢市総合体育館 日時 3 月 28 日

北川 虎史(2D) 105kg 級競技出場

校舎格技場耐震工事完了のお知らせ

事務長 中村 英弥

皆様はじめまして。事務長の中村と申します。今年度に行われた校舎格技場(柔・剣道場)の耐震大規模工事完了について、皆様にお知らせ致したいと思います。

まず、幸か不幸か、耐震診断をした所、結構頑丈に作られていて予算の関係上、大規模な改修というよりは中規模程度の改修しかできなかったことが少し残念なところでした。しかし、格技場での授業・部活動における危険性の除去、利便性の向上を最優先に各部活動の顧問の先生や体育科の先生方と意見交換しながら進めていきました。

工事は通常夏休みに行われることが多いのですが、部活動の各種大会の日程を考慮し 11 月の新人戦の後でということをお願いしました。その結果、完成予定が 2 月末とい

うこととなり、3 年生の受験勉強の妨げにならないよう騒音面では大変気を揉んだ所です。そのおかげかどうか、剣道部が県の新人大会で、男子団体ベスト 8 という大活躍をしてくれて、道場が新しくなることに「花を添えてくれた」とうれしく思っております。

要望通りの改修が出来た所、却下された所、無理矢理お願いした所等々いろいろありましたが、とにかく工事期間中の部活動や学校行事に迷惑をかけた分、立派に仕上がっていると思っています。この新しい道場が部員達の少しでも励みになり、今後より一層活躍してくれることを願ってやみません。

最後に、この改修工事に際しご協力頂いた先生方、生徒達、関係各位に改めて御礼申し上げます。

3 月行事予定

4 日	第 68 回卒業証書授与式
8 日	一般入試学力検査～9 日
12 日	国公立大学後期試験 スタディサポート(1, 2 年普) 進研基礎力診断テスト(1, 2 年総合)
14 日	春季球技大会

16 日	合格発表(正午)
17 日	卒業生と語る会(2 年普)
21 日	振替休日
22 日	予備入学(午後)
24 日	大掃除、伝達表彰式 終業式、離任式
25 日	春季補習～29 日まで